

平成30年度

病害虫発生予察情報 第11号

注意報第6号

北海道病害虫防除所 平成30年7月5日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

ばれいしょの疫病が早期に発生！ 防除適期を逃さないように注意しましょう！

北斗市のばれいしょ予察ほ場において、平年より早く疫病の初発が確認されました。巡回調査においても発生ほ場が認められています。

札幌管区气象台による6月28日発表の1ヶ月予報によると、7月29日まで降水量は平年より多いと予報されています。本病は曇雨天が続くとまん延しやすいとされており、今後本病の発生に好適な気象条件となる可能性があります。

ばれいしょの疫病は、初発後急激に病勢が進展することがあるため、ほ場をよく観察し、薬剤の散布開始が遅れないように注意しましょう。

1. 発生地域 全道

2. 予想される発生時期 早

3. 予想される発生量 やや多

4. 注意報発令の根拠

- 1) 予察ほの「とうや」における疫病の初発期は、北斗市で7月3日（平年：7月9日）と平年より早かった。7月3日現在、長沼（平年初発：7月16日）、芽室（平年初発：7月8日）、訓子府（平年初発：7月13日）での初発は確認されていない。
- 2) 6月6半旬の巡回調査によると、胆振地方および十勝地方の一般ほでも疫病の発生が認められている。これらの地域では、初発生期予測システム「FLABS」による予測初発日より早い発生となっている。
- 3) 6月下旬～7月上旬にかけて全道の広い範囲で多雨傾向となっており、7月2日までに全道の25地点全てにおいて、「FLABS」での「危険期到達日」に達している。
- 4) 6月28日発表の1ヶ月予報によると、7月29日まで降水量は平年より多く予報されており、本病のまん延しやすい条件と考えられる。

5. 防除対策

- 1) 疫病の初発後は急激に病勢が進展することがある。ほ場をよく観察し、薬剤の散布遅れにならないように注意する。さらに、降雨によって防除適期を失しないよう気象情報にも注意し、防除ガイドに準拠して薬剤散布を行う。
- 2) メタラキシル剤には全道で広く耐性菌が認められているので、薬剤の選択には注意する。
- 3) ダブルインターバル（14日間隔）散布を行う場合は、初発前から散布を開始し、薬剤は14日間隔での指導参考薬剤を用いる。